

医師会 健康講座

アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法 について

古賀耳鼻咽喉科（御幸町） 古賀 健一郎



アレルギー性鼻炎は花粉やダニ、ホコリなどが原因でくしゃみ、鼻水、鼻閉などの症状を引き起こす病気です。国内では4人に1人が発症していると推測されており、まさに国民病と呼べる病気です。

アレルギー性鼻炎の治療は抗ヒスタミン剤やステロイドの点鼻薬などで症状を和らげる対症療法が中心でした。一方、完治を目的とした治療としてはアレルギーの原因物質であるアレルゲンを少量から投与することで、段階的に体を慣らしていくアレルゲン免疫療法という治療があります。

これまでは、注射による免疫療法が行われていましたが、頻回の通院と注射の痛みがあり、アナフィラキシーショックなどの副作用の危険性もあることから、患者さん

の負担の多い治療でした。舌下免疫療法は1日1回、アレルギーの原因物質を含んだ薬を舌の下に投与する治療で、副作用の頻度も軽減されており自宅で続けやすくなりました。日本では2014年にスギ花粉の舌下免疫療法が初めて保険適応になり、2015年にダニの舌下免疫療法が保険適応になりました。



舌下免疫療法の適応となるのは血液検査で、スギ花粉症またはダニアレルギーと診断された人です。成人もしくは12歳以上の小児には認められていますが、12歳未満の

小児には保険適応がありません。また、重度の気管支喘息の人は喘息発作を誘発する可能性があります。治療できません。

一部のメデアでは、舌下免疫療法は安全でかつ、アレルギー性鼻炎が完治する夢のような治療として報じられたこともありましたが、

しかし、実際には3年から5年間の長期間、毎日舌下投与を続ける必要があり根気のいる治療です。全員が完治するわけではなく、何年間治療を継続しても効果を感じない人もいます。また、治療の効果が実感できるまでは舌下免疫療法中も、症状を抑える薬を今まで通り内服しなくてはなりません。頻度は低いものの、アナフィラキシーショックなどの副作用の可能性もあるため、初期治療は救急対応のできる病院で行う必要があります。

以上のことを理解して正しく治療を行うことができれば、舌下免疫療法はアレルギー性鼻炎を根治したり、症状を軽減したりできる可能性のある治療です。治療を希望される人は、耳鼻咽喉科を受診して相談してみてください。

